

(38) 古河歴史博物館と周辺の修景 茨城県 吉田桂二 1992年学会賞

(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

建築そのものは、過剰なデザインが目立ち疑問を感じる部分が多い。

(b) 周囲との景観的、空間的関連のたせ方

建築単体ではなく、周囲の修景まで含めて表彰されたのは、この作品が始めてであり、今のところ唯一である。

(c) 長い寿命と強靱な耐久性

若干、破損している点が見受けられ、残念だった。

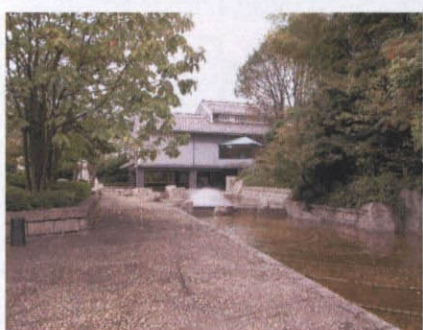
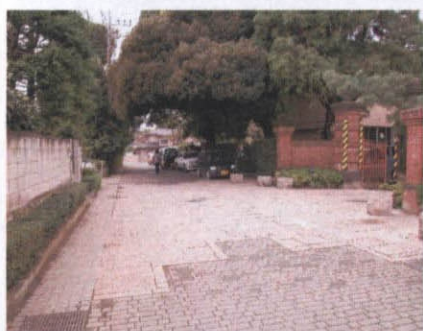
(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力

隣接する文学館や、周囲の街路も含めて、統一感を持ったデザインが行われている点は、高く評価できる。これだけの規模の空間のデザインを統率することは、作者の力量のたまものである。

博物館周辺のお堀を復元したことも評価できるが、作者が「創造的復元」と称するデザインは堀というよりも庭園であり、土木史的には疑問が残るであろう。

この年は、建築学会賞の選評では「不作の年」とされていて、他によいものがないので、この作品が選ばれたという印象である。建築単体をみれば、その評価に頷ける部分もあるが、一方で、そのような年でなければ、周囲の修景も含めた作品が受賞することもなかっただろうと思われる。この受賞を契機に、建築学会賞の評価項目に「周囲の修景」が追加されても良かったのではないかとと思われるのだが、そうはなっていないようである。

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし



(39) レム棟・クールハース棟 福岡県 レム・クールハース 1992年  
学会賞

(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

建築学会賞の選評では、南側に大きく窓が開いていることによる、夏の暑さに対する懸念が、指摘されていた。

(b) 周囲との景観的、空間的関連のもたせ方

外部とはほとんど何の関係もない住宅建築である。街並みに何ら寄与しないどころか、醜い姿をさらけ出している。

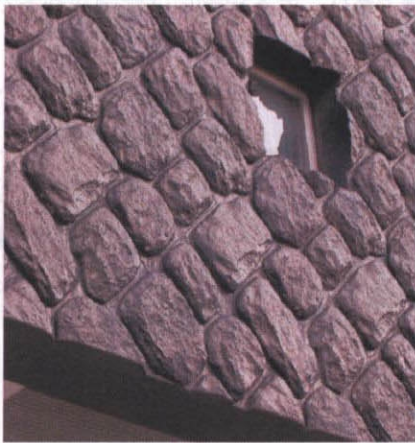
(c) 長い寿命と強靱な耐久性 コメントなし

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力

この建物に限らず、ネクサスワールドの街並みは、全体に悲惨きわまりない。建築家だからといって、街並みをデザインできるとは限らないという良い見本である。彼らには、「地」がデザインできないということが良く解る。

また、ネクサスワールドの多くの建物は、1Fが商業空間に設定されているが、空き部屋が多く、ゴーストタウンのような場所もある。

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし



(40) 海の博物館 三重県 内藤廣 1993年学会賞

(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

建物の外観や外構はかなりラフな印象を与える。都会的に洗練された建築を見慣れた目には、印象的に写る。黒塗りの板壁やラフに塗装されたドアの質感が素晴らしい。

木造や、PCによる構造が露出しており、重要なデザインの要素になっている。構造は複雑であるが素晴らしい。

(b) 周囲との景観的、空間的関連のもたせ方

展示室から海を見渡せる場所があり、展示内容と、目の前の海を結びつけることができる。建物と地形との納まりも、よく考えられている。

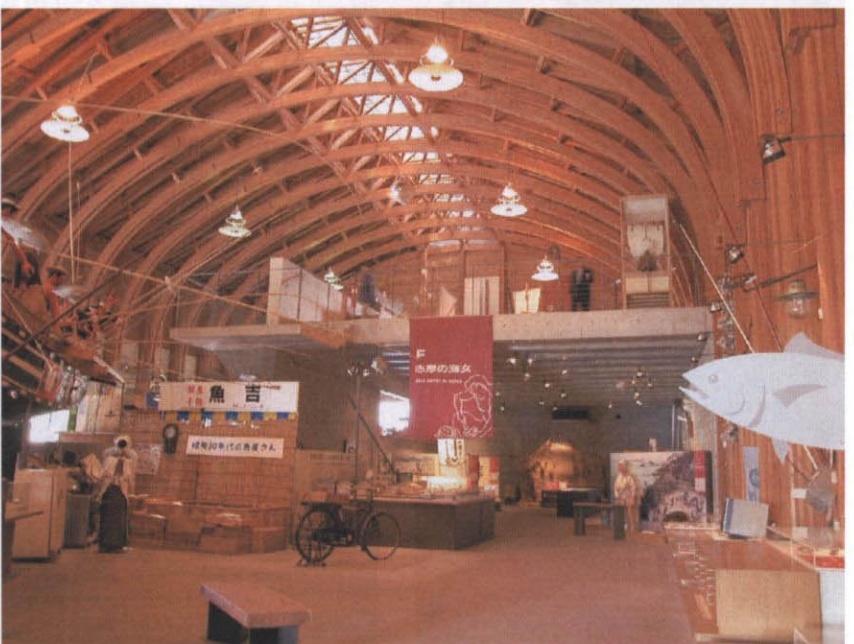
(c) 長い寿命と強靱な耐久性

エージングによって、建物の良さがますます高まるであろうことを予感させる。

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力

展示内容についても、漁業に関連する豊富な内容を興味深く学ぶことができる。

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし



(41) 用賀Aフラットをはじめとする一連の集合住宅 早川邦彦 1994年学会賞

受賞作品のうち、見学したのは熊本市営新地団地である。熊本アートポリスの一つで、多数の建築家がデザインに関わっている。

(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

早川がデザインしたA棟は、そのファサードや中庭のデザインが評価されているのだが、私にはその良さが理解できない。ファサードは奇抜なデザインで、建築家の独善的な好みにはしか見えない。

中庭は、1/1000模型を拡大コピーしたような出来映えで、ヒューマンスケールを逸脱している。芝生の広場の端は、いきなり崖となっており、子供が遊ぶには非常に危険である。実際、休日にもかかわらず人の姿はすくない。

裏の駐車場の横に狭い広場があり、そこには遊具もあって子供が遊んでいた。

(b) 周囲との景観的、空間的関連のもたせ方

中庭の軸線が、B棟に連続しているのだが、B棟の外構はさらにひどく、滑走路のようなコンクリートの舗装面でしかないため、この軸線は、動線としての意味しか持ち得ていない。軸線を通すことは良いとしても、そのデザインは理解に苦しむ。

(c) 長い寿命と強靱な耐久性

壁面の汚れが目立ち、汚れが進めば、すさんだ印象となるであろう。

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力

費用が極めて限られたプロジェクトだったようである。外部空間を豊かなものにする余裕がなかったのかもしれないが、コストコントロールの失敗ではないかと思われる。

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし

A棟



B棟



(42) 関西国際空港旅客ターミナルビル 大阪府 レンゾ・ピアノ  
1995年学会賞

(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

素晴らしい建築だと思う。しかしそのすばらしさの大部分は、内部空間の構造デザインにある。

よく言われることだが、羽田と異なり、方向を見失わないようなデザインとなっていることがすばらしい。また、空や滑走路から見たときの建築は特徴的で美しい。

内部のすばらしさに比べて、外部のバス乗り場など、使いにくい場所が見受けられる。

(b) 周囲との景観的、空間的関連のもたせ方

駅からの正面入り口は、だだの通路で特徴がない。海外への入り口として、もう少しやり方があるのではないかと？

(c) 長い寿命と強靱な耐久性 コメントなし

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力

予算などの制約条件によるのだろうが、コンペ案から後退した印象は否めない。

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし



(43) 塔の家から阿佐谷の家に至る一連の都市型住宅 東京都 東孝光  
1995年学会賞

受賞作の中から、塔の家を見学した。

(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

青山のキラートリにあるコンクリート打ち放しのこの住宅は、極めて小規模で、都会でどれだけ狭い土地で暮らすことが可能か、実験を行ったような建築である。しかし、私には単なるみずぼらしい建築にしか見えない。

(b) 周囲との景観的、空間的関連のもたせ方 コメントなし

(c) 長い寿命と強靱な耐久性 コメントなし

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力

この建築は、東京の都市計画の貧しさの結果であって、褒め称えるべきものとは思えない。

現実に東京の地価が高い以上、このような住宅の提案が無意味だとい  
うつもりはない。しかし、このような実験を行わざるを得ないということは、  
都市のデザインに関わるものにとっては、恥ずべきことではないのだろうか。  
これを見て喜ぶのは建築関係者だけだと思う。

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし



熊本市郊外にある集合住宅で、熊本アートポリス参加作品である。

**(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化**

中庭に特徴がある。中庭を取り囲む建物は3Fの高さで、スケール感がよい。芝生と樹木で構成された中庭は居心地が良さそうである。

北側の建物は、色彩が豊かで楽しい。

**(b) 周囲との景観的、空間的関連のもたせ方**

南側道路に面した建物は、1Fがピロティーになっており、中庭を半公共的なものになっている。

**(c) 長い寿命と強靱な耐久性** コメントなし

**(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力** コメントなし

**(e) 意志決定の柔軟なシステム** コメントなし



(45) 登米町伝統芸能伝承館 宮城県 隈研吾 1997年学会賞

(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化 コメントなし

(b) 周囲との景観的、空間的関連のもたせ方

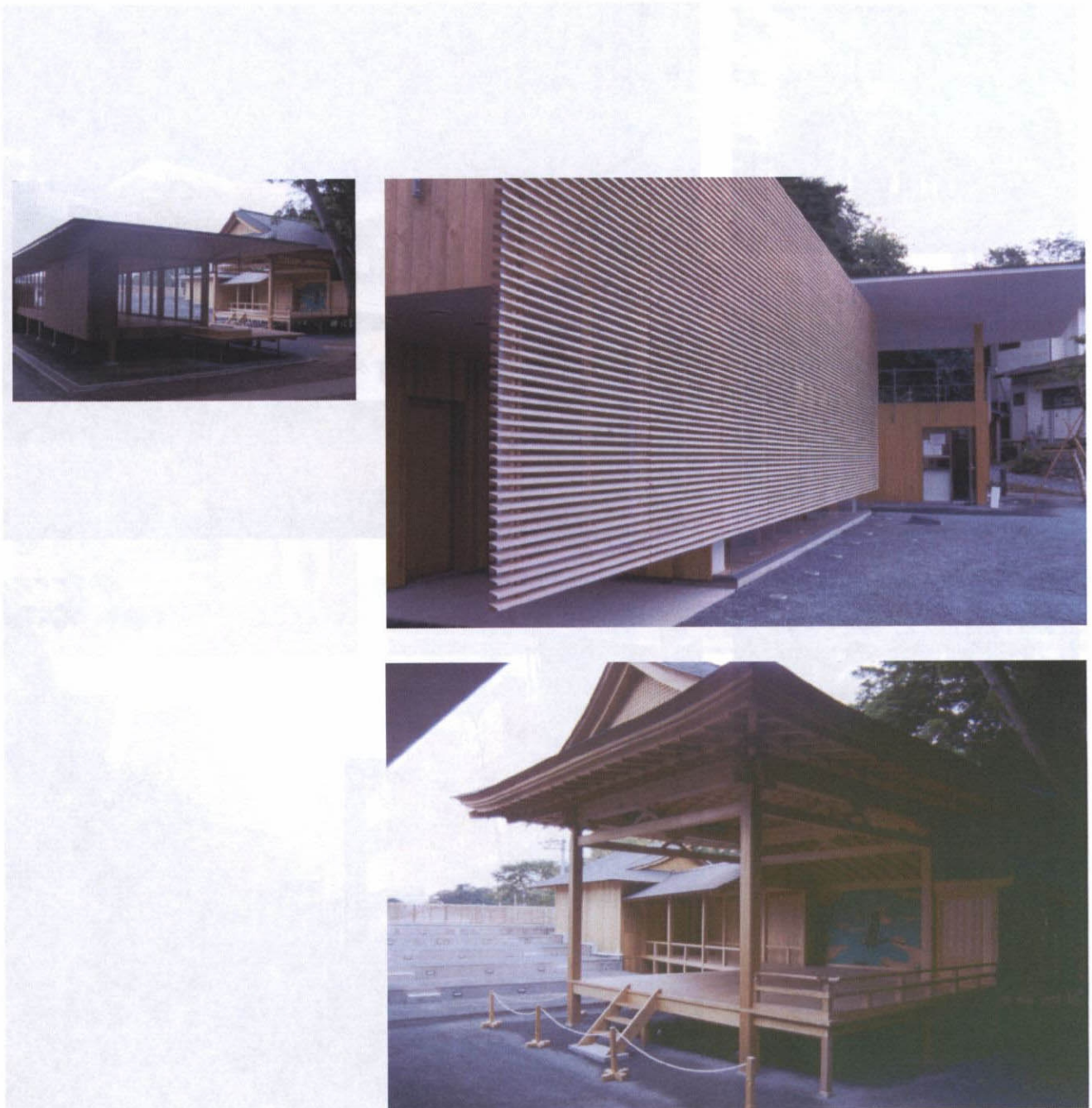
森の中にひっそりと佇むように建つ上品な建物である。自然の中に上手く納まるような建築の表情やスケールは高く評価したい。

(c) 長い寿命と強靱な耐久性

筆者がこの建築を見たのは、竣工後間もない頃であった。木製の繊細なガラリなど、雨のかかる場所に木材が多く利用されていたので、耐久性に不安を感じた。もう一度訪れてみたい建築である。

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力 コメントなし

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし





(46) 国際情報科学芸術アカデミー マルチメディア工房 岐阜県 妹島和世、西沢立衛 1998年学会賞

雑誌を見た印象では、広々とした芝生の中にランドスケープにとけ込んだ白く輝く建築が調和した風景を想像して訪れたのだが、かなり失望した。

(a) 機能、構造、意匠等に関する諸課題の統合化

屋上に上ることができるのだが、上がったからといって特に居心地が良いわけではない。イベント時にはステージとして利用できるのではあろう。

(b) 周囲との景観的、空間的関連の果たせ方

隣接する建物とは、あまり調和していない。建物上空には電線が横切っている。

(c) 長い寿命と強靱な耐久性

白い建築のいたるところが錆びつき、茶色く汚れていた。これは、メンテナンスの問題ではなく、設計の問題である。錆や汚れに対する備えが不十分だったとしか思えない。建築の内部にも雨が落ちる形でありながら、汚れに対する対応は全く不十分である。

屋上の柵が破損しているが、この細さでは破損するのが当然である。

建物の耐久性に関する検討がほとんどなされていないと思われる。まだ竣工からさほどの年月を経ているわけではないのだが、今では全く学会賞の価値は感じられない。

(d) 計画から設計、施工、維持管理までの総合力 コメントなし

(e) 意志決定の柔軟なシステム コメントなし

